



[ABC粉末薬剤] ヤマトプロテック株式会社
整理番号 : SDS No.002-9
作成日 : 2002年 2月15日 (平成14年 2月15日)
改訂日 : 2025年 3月25日 (令和 7年 3月25日)

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : A B C 粉末消火薬剤
会社名 : ヤマトプロテック株式会社
住所 : 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2
電話番号 : 0570-080100 (ナビダイヤル)
担当部門 : テクニカルサポート室
推奨用途及び使用上の制限 : 消火薬剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分

下記に記載が無い項目は、「区分に該当しない」、「分類できない」

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分2B

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分2(神経系)

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

警告

眼刺激

神経系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



[ABC粉末薬剤] ヤマトプロテック株式会社
整理番号 : SDS No.002-9
作成日 : 2002年 2月15日 (平成14年 2月15日)
改訂日 : 2025年 3月25日 (令和 7年 3月25日)

応急措置

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合

医師の診断/手当てを受けること

保管

多湿を避け、使用温度範囲に保ち屋内に(可能なら)施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別

: 混合物

化学名又は一般名

: 消火薬剤(ABC粉末)

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
硫酸アンモニウム	7783-20-2	化審法1-400	45~70%
リン酸二水素アンモニウム	7722-76-1	化審法1-379	30~45%
シリカ	企業秘密	企業秘密	1~5%

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

暴露または暴露の懸念がある場合

医師の診断/手当てを受けること

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 不燃性につき、該当しない
使ってはならない消火剤	: 該当しない
火災時の特有の危険有害性	: 情報なし
特有の消火方法	: 該当しない
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 該当しない

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業者は適切な保護具（「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用すること。

屋内の場合、処理が終わるまで十分な換気を行うこと。

漏出した場所の周囲には、ロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止すること。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

風上に留まること。

密閉された場所は換気すること。

環境に対する注意事項

漏出物が河川公共水路等に流れこむのを防止すること。

リン、及び窒素含有のため、水質の富栄養化の原因となる。

封じ込め及び浄化の方法・機材

飛散したものを掃き集め、密閉できる容器に回収し、「13.廃棄上の注意」の記載に従って廃棄すること。その後、多量の水で洗い流すこと。この場合、濃厚な廃液が河川などに流出しないよう注意すること。

二次災害の防止策

漏えい物はすみやかに回収すること。

漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止すること。

万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告すること。

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



[ABC粉末薬剤] ヤマトプロテック株式会社
整理番号 : SDS No.002-9
作成日 : 2002年 2月15日 (平成14年 2月15日)
改訂日 : 2025年 3月25日 (令和 7年 3月25日)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
- 局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全取扱い注意事項 : 外又は換気のよい区域のみで使用すること。
接触、吸入または飲み込まないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保管
- 保管条件 : 多湿を避け、使用温度範囲内に保ち屋内に(可能なら)施錠して保管すること。
- 容器包装材料 : 製品容器、該当する消火器等。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 硫酸アンモニウム
ACGIH (2015年度版) : TLV-TWA 10 mg/m³
: シリカ
日本産業衛生学会(2015年度版):第三種粉塵 吸入性粉塵 2 mg/m³
総粉塵 8 mg/m³
ACGIH (2011年版) : TLV-TWA 10 mg/m³
粉塵作業場所では、排気設備を設置すること。
- 設備対策
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋を使用すること。
- 眼の保護具 : 保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を使用すること。

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



[ABC粉末薬剤] ヤマトプロテック株式会社
整理番号 : SDS No.002-9
作成日 : 2002年 2月15日 (平成14年 2月15日)
改訂日 : 2025年 3月25日 (令和 7年 3月25日)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	: 淡紅色
臭い	: 無臭
融点/凝固点	: 情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 該当しない
爆発下限界及び爆発上限界	: 該当しない
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 4.5 (2%水溶液)
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 水にほとんど溶解しないが、撥水性が損失すれば溶解する。
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び相対密度（比重）	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 企業秘密

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定
危険有害反応可能性	: 強アルカリ性物質と反応してアンモニアガス発生の危険。 強酸化剤と混触すると反応することがある。
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 強アルカリ性物質、強酸化剤
危険有害な分解生成物	アンモニア、窒素酸化物、硫黄酸化物

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



11. 有害性情報

急性毒性

経口	: 区分に該当しない
経皮	: 区分に該当しない
吸入 : ガス	: 分類できない
: 蒸気	: 分類できない
: 粉じん及びミスト	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分2(神経系)
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	: 分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 分類できない
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない
その他	
河川等に排出すると含有するリンのために富栄養化が起こり、水生生物に有害な影響を与える恐れがある。	

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



[ABC粉末薬剤] ヤマトプロテック株式会社
整理番号 : SDS No.002-9
作成日 : 2002年 2月15日 (平成14年 2月15日)
改訂日 : 2025年 3月25日 (令和 7年 3月25日)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十告知の上処理を委託すること。

汚染容器及び包装

関連法規並びに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

消火器などに充填せず、ABC消火薬剤として運送される場合 :

国連番号	: 該当しない
品名	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
国際海上危険物規程 (IMDG)	: 該当しない

消火器に充填される場合 :

国連番号	: 消火器に充填した場合UN1044
品名	: 消火器
国連分類	: 2.2
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
国内規制	: 陸上規制情報 消防法の規定に従う : 航空規制情報 航空法の規定に従う : 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



[ABC粉末薬剤] ヤマトプロテック株式会社
整理番号 : SDS No.002-9
作成日 : 2002年 2月15日 (平成14年 2月15日)
改訂日 : 2025年 3月25日 (令和 7年 3月25日)

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9) シリカ
	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9) シリカ (政令番号312) :1~5%
化審法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: 該当しない
消防法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない
水質汚濁防止法	: 施行令第2条 アンモニア化合物
海洋汚染防止法	: 該当しない

16. その他の情報

すべての化学製品には未知の危険性や有害性があり得るという認識でご使用下さい。危険性や有害性も、使用時の環境、保管状態、保管期間によって異なります。ご使用時を含め、保管、廃棄に至るまで専門知識や経験のある方の指導の元で扱うことをおすすめします。

なお、記載の注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いをする場合には状況に適した安全な条件設定を講じた上で、ご使用者各位の責任において使用して下さるようお願いします。

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。